



## 2024～2025年度 クラブ活動の基本方針

会長 山本 ヒサ子

ロータリー会員歴満7年の身で、70年の歴史あるクラブの会長をお引き受けすることになり、責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

つきましては近年のロータリーが掲げるD.E.I.すなわち多様性・公平さ・包括性の観点からは、女性であり、高齢者であり又経験値の少ないものの一人であることを強みととらえ、一年間のクラブ運営活動に活かしていきたいと存じます。

さて今年度のRI会長のステファニー A・アーチック氏のテーマは『THE MAGIC OF ROTARY』、ポリオ根絶の運動・安全な飲料水施設普及などのプロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに人の心を動かし、又自身の心も変わることをロータリーのマジックと表しています。

そして一年が終わるとき、次年度に続いていく準備ができている人がどれだけいるかにかかっているとしています。その観点からもRIは三年間の事業計画を立てるよう提言し、その報告を求めています。

このRI提言を受けて2630地区亀井ガバナーの活動方針は「地域にインパクトを」です。地域社会にとって最も有意義で持続可能な奉仕活動を模索し実践することを重点目標として掲げています。地域に必要とされ感謝される事業を継続して行うことでより一層の効果と評価を得られるでしょう。しいては公共イメージの向上につながり、新しい会員獲得にも繋がると期待を寄せています。

目標に近づくためには、今まで以上に会員皆様との情報・意見の交換の機会を増やすとともに、会長エレクト、副会長との連携も潤滑に行えるように心掛けつつ進めたいと考えております。

以上を踏まえ、今年度我がクラブの基本的活動方針は「71年目からの新しい一歩」といたします。

長年の伝統を大切にするとともに、次代に向けて新しい意見を取り入れることによって、活動がより意味のあるものとして内外共に受け入れられるクラブへの道筋を模索する年度にしたいと考えます。

皆様方の温かいご理解とお力添えを賜りますよう、切にお願い申し上げます。